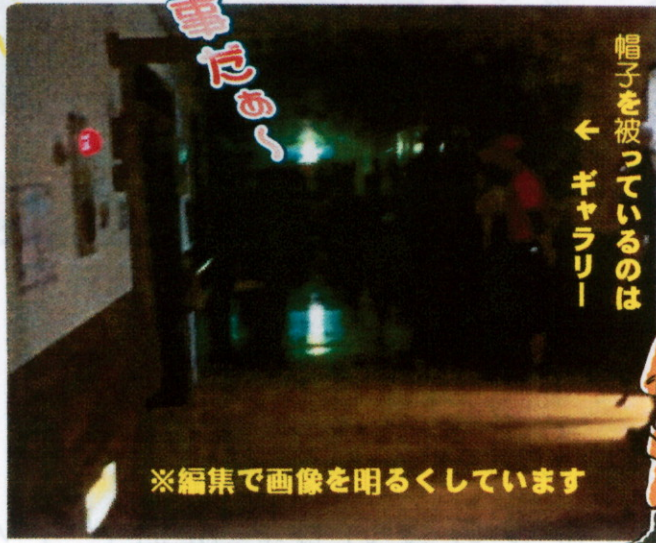


全員参加

# 夜の避難訓練

8月31日、夜、夜間避難訓練が行われました。小安消防署の方と松野主任から火災訓練の説明を受け、7時に火災警報ベルが鳴り訓練開始。



※編集で画像を明るくしています

帽子を被っているのは  
←ギャラリー



ちようじゆそう

# 潮寿荘

だより

平成27年9月15日発行  
発行：特別養護老人ホーム  
**潮寿荘**  
記事：9月担当潮寿荘職員  
編集：潮寿荘だより編集委員  
題字：戸沢 勝義(89歳)

火災発生現場は洗濯室に想定している  
るので、洗濯室近くの居室にいる入  
居者さんから起こしていきます。  
居室は真っ暗で、入居者さんの表情  
や自分の足下すらよく見えない状況  
です。私は初めてだったので、先輩  
に注意点を教えてもらいながら見学  
していました。「火事だあく、火事だ  
あく」と叫びながら避難誘導してい  
るのを見て、自分だったらどうする  
だろうと想像すると、夜勤者と遅番、  
宿直者の連携も大切だと思いますが、  
大きな声を出すことも同じくらい大  
切だと思いました。  
少しですが、入居者さんの様子をお  
伝えします。  
火事だと伝えると「アメ玉持って行  
く！」と(結局持っではいけません  
でした)照子さん。  
義丸さんは、「おっ、早えな。もう朝

だか」と元気に起き上がり、ギャラ  
リーから笑い声があがりました。  
訓練の事は説明してあるのですが、  
横になると殆どの人が忘れてしま  
ようで「起こすんでない!」「もっと  
静かに起こせ!」「寝かせてろ!」な  
どと怒る人「えっ、えっ」と驚く人、  
いろいろでしたが状況が解ると一生  
懸命訓練に協力してくれました。  
そして最後に夜勤担当者が人数を確  
認し、消防へ報告。訓練は終了しま  
した。タイムは51人全員を誘導して  
12分。泣いてしまう方もおりました  
が、いざという時のためには、こう  
いう訓練が役に立つとしみじみ思  
いました。私も非常時に備え、①普  
段から気を使い丁寧に介助する!②大  
きな声が出せるようになること!を  
目標にこれからも頑張っていきたい  
と思います。  
(末妹は8ヶ月、三人の弟妹と遊ぶ  
のが大好きな18歳介護士・岩船)



函館市『高齢者趣味の作品展』出展作品

## 10月の予定

- 1日 潮寿荘・潮太郎合同  
**運動会**  
・日新小学校生従さん参加  
・特別喫茶(おやき)
- 2日 誕生会
- 5日 鍋会食(薬味白湯鍋)
- 12日 体育の日バイキング
- 19日 鍋会食(石狩鍋)
- 21日 避難訓練(昼)

## ☆グレートネイチャー・潮寿荘☆



エソシカ登場 8月21日・前庭にて



太陽の周りに、まあるい虹!  
8月25日・玄関前にて

お盆よりひと足早く

# 墓参り



8月5日、潮寿荘共同墓碑へお墓参りに行ってきました。お墓は小安の共同墓地にあり、潮寿荘からは車で3分位で到着

します。参加したのは男女9名。3台の車に分乗したのですが、その日は朝から暑く、皆さん車の中でも「暑いねえ」と言っていました。到着後はお花とお菓子を供え、皆で

## 幸子さんと和子さん

皆様体調崩されていませんか。私は今年の3月バトミントンでアキレス腱を断絶したため休職していました。三ヶ月後に潮寿荘へ復帰すると、初めて拜見する入居者さんが何人かおりました。今回は、その方々とのエピソードを書きたいと思います。一人目は幸子さん。一見、話にくそうな印象だったのですが、お話しするととてもユーモアがあり優しい方でした。私が名前を言うと、すぐに覚えて下さり宿直のとき「私、今日泊まりますので、幸子さん一緒

手を合わせ合掌。しかし、さすが潮寿荘の入居者さん！何人かは目を開けてお菓子を見つめています。供えていたのはお団子やバームクーヘンで、それが食べたかったのか朋子さんに聞いてみると「えへへっ、どれも美味しそうで」とはにかんでいました。お供え物はお参りの後みんなで食べるのですが、この時は皆さん暑さを忘れてもぐもぐ。お墓参りの目的には、このお菓子も入っているのでは、と思ってしまうほど。後日「あのバームクーヘンもうないの？お団子は？」とキヨさん。お墓参りのお供えを食べるのは参加者の特権。大好評なのでした。

（彼氏と一緒にいるのが何より幸せという介護士・境）に寝てもいいですか」と聞くと「良いよ」と言ってくれました。朝、幸子さんに「おはようございます」と言っていると「何で来たのかったの、待ってたんだよ」と言ってくれました。そして「淋しかったら、いつでも一緒に寝てあげるよ」と言ってくれて、すごく嬉しかったです。次は和子さんです。和さんは、



白瀬介護士、幸子さん、和子さん

とても笑顔がチャーミングな方です。話し方が柔らかい感じで、いつも上手に塗り絵をなさっています。必ず割烹着を着ていて、見ていると私の母を思い出します。安心してほっこりします。たぶん私の想像ですけど、和子さんが元気な頃は、いつも割烹着を着ていたのだらうなと思いました。どんな様子が来ると、意外とクールな感じでしたので「お父さん、和子さんの好きな食べ物いつも持ってきてくれて、和子さんのこと好きなんです」と言っているとちょっと照れくさそうに「そうかい？」おっしゃっています。嬉しそうでした。少し羨ましかったです。（今月遂に完全復帰！どんな動作も出来るようになった介護士・白淵）

## 潮太郎コーナー



9月2日〜9月4日まで東京に出張に行かせて頂きました。出発前は東京に行って電車に乗ると考えただけで頭が真っ白になりましたが、潮太郎管理者清水隆宏（清水）さん、同人物

寿荘の沖本ケアマネと一緒に知り何とか平常心を保ち旅立つことができました。出張の目的は3つの施設を見学し良い点を学んでくる事です。その一つ「ひのでホーム」さんでは、移乗リフトの導入や職員や入居者の負担を軽減する介護について教えてもらいました。私は最初、移乗リフトについて本当にそんなに良いのだろうかと半信半疑でした。でも、実際にリフト体験してみると約百キロの私でも、不安なく安全に車イス↓ベッドを移動出来、目からウロコ。介護機器の進歩を実感でき、とても勉強になりました。

《地域密着人間・清水》出張最終日「トイレ電気付けっぱなしだよ」とメールが届きました。同僚が釜谷町会館に行くと、近所の方に「清水さんの家トイレ電気付けっぱなしだよ。いつ帰ってくるの？」と問われ、別の方にも「最近歩いてるの見てない」と言われたそうです。釜谷町在住7ヶ月の私としては地域の皆様に気にかけて頂けるようになったのだとても嬉しかったです。今後もう少しでも地域の皆様のお役に立てるように頑張っていきます。

8月1日付けで潮太郎管理者が変わりました前任者同様、どうぞよろしくお願ひします。

ご寄付ありがとうございました。  
・伊藤 雅夫 様  
・瀬下 裕子 様